取扱説明書
保証書付

MCE-3120（ホワイト）
MCE-3415（ピンク）

# キュートミシン

この度はお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用下さい。お読みになった後は大切に保管して下さい。

## もくじ

# 安全上のご注意

| | |
|---|---|
|  警告 | 誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
|  注意 | 誤った取扱をすると、人が傷害(※1)を負ったり、物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。 |

※１傷害とは、治療に入院や長期の通院等を要しない、けがや感電等をさします。
※２物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットにかかわる拡大損害を示します。

| | | | |
|---|---|---|---|
|  禁止 | 禁止(してはいけないこと)を示します。 |  強制 | 強制 ( 必ずすること ) を示します。 |

| ⚠ 警　告 | |
|---|---|
|  分解禁止 | ・絶対に分解・修理・改造は行わない。<br>※感電や思わぬけが、製品の故障に繋がる恐れがあります。 |
|  禁止 | ・子供等取扱に不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使用しない。<br>※思わぬけがの原因となります。<br>・コードやアダプタを破損するようなことはしない。<br>※感電・ショート・火災の原因となります。<br>・コードやアダプタが痛んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない。<br>※感電・ショート・火災の原因となります。<br>・下記のようなアダプタの取扱いは絶対にしない。<br>※発熱・発火に繋がります。<br>●風通しの悪い場所に置く。<br>●アダプタを布や紙・その他の物で覆う。<br>●アダプタの上に物をのせる。<br>●火気の近くに置く。<br>●狭い所に置く。<br>●熱を持った物 ( ヒーター・電気カーペット等 ) の近くや上に置く。<br>●畳の上に置く。<br>●日当りの良いところ等、高温になる場所に置く。 |
|  ぬれ手禁止 | ・濡れた手でアダプタの抜き差しはしない<br>※感電の原因となります。 |
|  水ぬれ禁止 | ・本体を水につけたり、水をかけたりしない。<br>※感電・ショート・故障の原因となります。 |

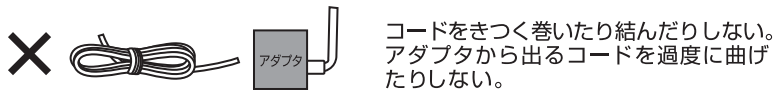
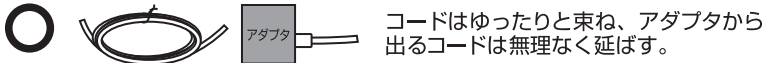
## ⚠ 警　告

強制

- ・プラグは根元まで確実に差し込む。
- ・必ず交流 100V で使用する。
- ・アダプタのほこり等は定期的にとる。
- **・コードの取り扱いは、必ず下記の内容を守る。**

●コードを本体に巻き付けない。
●コードの上に物を置かない。
●コードをきつく束ねたり結んだりしない。
●コードを引っぱってプラグを抜かない。必ずアダプタを持って抜いて下さい。
●コードをドア等で挟まない。
●コードを過度に曲げない。
●コードをねじらない。

コードはゆったりと束ね、アダプタから出るコードは無理なく延ばす。

コードをきつく巻いたり結んだりしない。アダプタから出るコードを過度に曲げたりしない。

※コードの誤った取り扱いは断線火災事故に繋がります。上記の内容を守り、正しくご使用下さい。

## ⚠ 注　意

禁止

- ・本製品を本来の使用目的以外には使用しない。
- ・たこ足配線はしない。
- ・子供の手の届く所に保管しない。
- ・不安定なところで使用しない。
- ・本製品の操作中は手元から目を離さない。※思わぬけがの原因となります。
- ・新しい電池と古い電池や種類の異なる電池は併用しない。
- ・乾電池の代用として充電式電池を使用しない。
- ・破損したら使用しない。

強制

- ・針・ボビンのセットなど、縫製以外の作業を行う際は作業前に必ず本体スイッチが「OFF」になっていることを確認する。電池で使用している場合は電池を抜いてから作業をし、アダプタで使用している場合は必ず本体からコードを外した状態で作業を行う。※電源が入っていると、本体スイッチに触れて電源が「ON」になった場合に動きだし大変危険です。
- ・使用しない時は、電池を抜いて保管する。

ぬれ手禁止

- ・濡れた手で電池の交換はしない。
※製品の故障・感電の原因となります。

プラグを抜く

- ・使用時以外はプラグをコンセントから抜く。
- ・移動させる場合は、必ずプラグをコンセントから抜き、本体からアダプタ・フットペダルスイッチのコードを抜く。

## 使用上のご注意

内容を守らないと、製品の動作に問題が生じたり製品本体の故障や劣化に繋がる注意事項、又その他の注意を示します。

●使用できる布の厚さの範囲は約0.3～0.8mmです。厚さの範囲をお守りになりご使用下さい。
※本製品で厚手の生地（デニムや革等）は縫わないで下さい。針が折れたり曲がったりする恐れがあります。

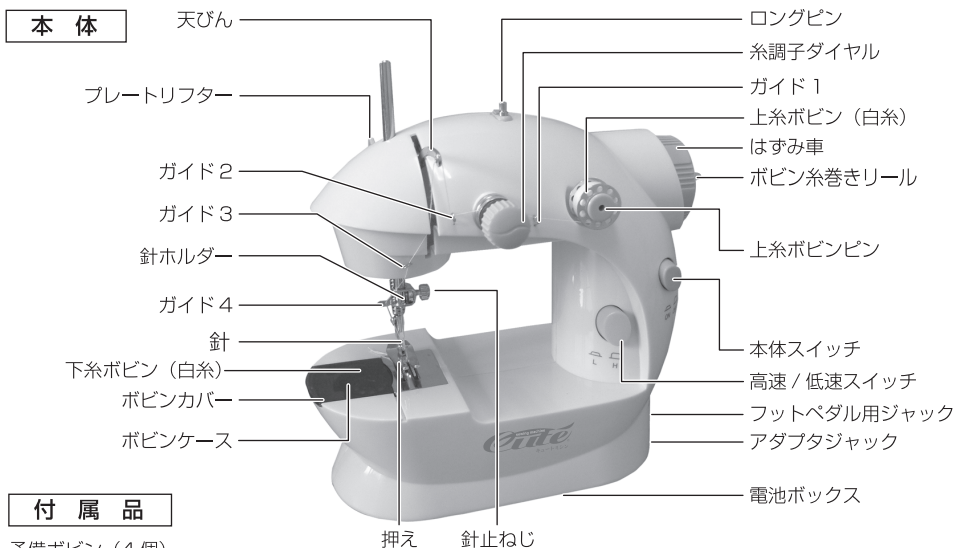
●高温になる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所への設置・保管・放置はしないで下さい。

●落とす・ぶつける等、製品本体に強い衝撃を与えないで下さい。

●本体の上に物を置かないで下さい。

●お手入れの際に、シンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤は使用しないで下さい。

●本製品は一般家庭用です。業務用でのご使用はおやめ下さい。

## 各部名称

## 初めてご使用になる前に

●本製品には布地があらかじめセットされています。これは工場出荷時に品質保全の為行った検品時のものです。ご使用の際は布地を取り外して下さい。
（布地の取り外し方はP.8「布地を外す」参照）

# 使用方法

※針・ボビンのセットなど、縫製以外の作業を行う際は作業前に必ず本体スイッチが「OFF」になっていることを確認して下さい。電池で使用している場合は電池を抜いてから作業をし、アダプタで使用している場合は必ず本体からコードを外した状態で作業を行って下さい。電源が入っていると、本体スイッチに触れて電源が「ON」になった場合に動きだし大変危険です。

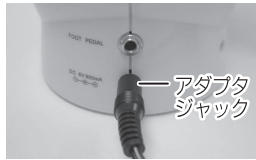
## 電源を準備する

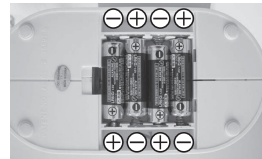
■本製品は付属のアダプタ、または乾電池（別売）で使用します。

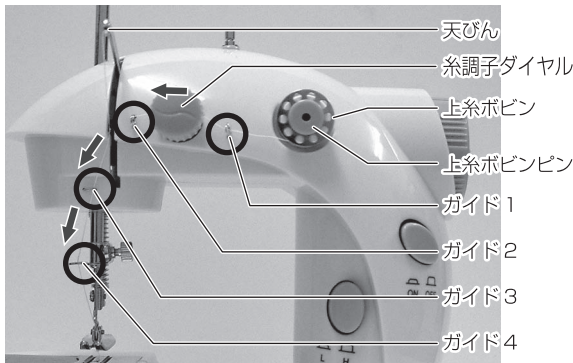
【アダプタで使用する】

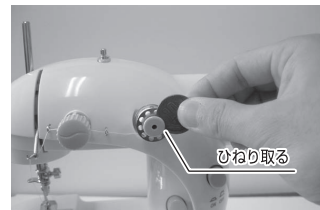
アダプタのプラグを本体の右側下段にあるアダプタジャックに差し込みます。
※上段ジャックはフットペダルスイッチ専用なので絶対に差し込まないで下さい。

・下記のようなアダプタの取扱いは絶対にしない。
※発熱・発火に繋がります。

●風通しの悪い場所に置く。 ●アダプタを布や紙・その他の物で覆う。 ●アダプタの上に物をのせる。 ●火気の近くに置く。 ●狭い所に置く。 ●熱を持った物（ヒーター・電気カーペット等）の近くや上に置く。 ●畳の上に置く。 ●日当りの良いところ等、高温になる場所に置く。

【電池（別売）で使用する】

ミシン本体底面部の電池ボックスのフタを開け、新しい単3形アルカリ乾電池４本を＋－の正しい向きにセットします。

## 上糸のセッティング

1. 上糸ボビンピンを取り外します。（P5.【上糸ボビンの取り外し方】参照）
2. 時計回りに糸が出るようにボビンをセットし、上糸ボビンピンを取り付けます。
3. プレートリフターを上げて押えを上げます。
4. ボビンから出た糸は〈ガイド 1〉→〈糸調子ダイヤル〉→〈ガイド 2〉→〈天びん〉→〈ガイド 3〉→〈ガイド 4〉の順で通し、最後に〈針〉に通してセットします。
   ※ガイドに糸を通す際は、糸が絡んだりねじれない様にご注意下さい。糸が絡まっていたりねじれているとミシンが正しく稼働しません。（P6.【針に糸を通す際は】参照）

【上糸ボビンの取り外し方】

上糸ボビンを止めている上糸ボビンピンが外れにくい場合は、ボビンと上糸ボビンピン頭部との間に硬貨等を差し込み、ネジを回す様に硬貨をひねると、上糸ボビンピンが手前に出てきます。

5. 針に通した糸は、針穴からミシン背面に向かって約10cm程度に伸ばしておきます。

【針に糸を通す際は】

※ガイドに糸を通す際は、糸が絡んだりねじれたりしない様にご注意下さい。糸が絡まっていたりねじれているとミシンが正しく稼働しません。

## 下糸のセッティング

1. 上糸のセッティングを終了し、針が一番高い所に上がっている事を確認します。
（針が上がっていない場合は、はずみ車を回して高い位置へ移動させます。）

2. ボビンカバーを外し、ボビンケースに下糸ボビンを入れ、糸を溝に置きます。
※ボビンは反時計回りに糸が出るようにセットします。

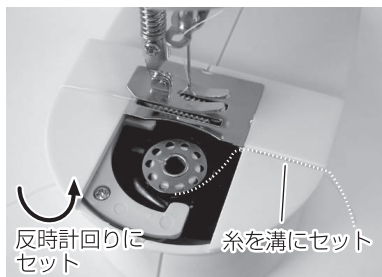
3. 針に通した上糸の端を左手で軽く持ち、右手ではずみ車を反時計回り方向へゆっくりと回します。

4.そのままはずみ車を反時計回り方向へ回し続けると上糸が下糸を絡め取り、針が通る穴から下糸が出てきます。

▲手前から向こう側へ布などを通し、下糸を完全に出す。

5.下糸が上へ出て来たことを確認したら、布などの薄い物を押えの手前から奥側へ通し下糸を完全に上へ出します。

6.下糸と上糸を一緒にミシン背面へ引っ張り、ボビンカバーを取り付けます。

▲下糸と上糸を一緒にミシン背面へ引っ張る。

## 下糸ボビンの取り外しかた

1. ボビンカバーをスライドさせて取り外します。

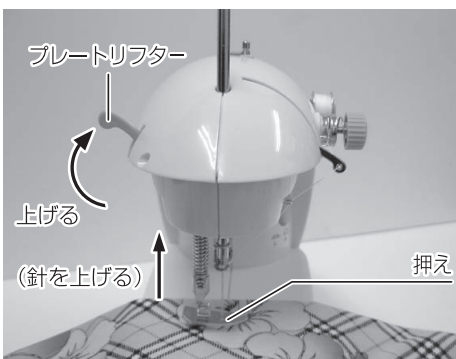
2. ボビンケースにセットされている下糸ボビンを爪で持ち上げ、取り出します。

## 布地を縫う

※使用できる布の厚さの範囲は約0.3〜0.8mmです。厚さの範囲をお守りになりご使用下さい。また、本製品で厚手の生地（デニムや革等）は縫わないで下さい。針が折れたり曲がったりする恐れがあります。

1. はずみ車を手で回し､針を一番高い位置で止めます。

2. プレートリフターを上げて押えを上げ布地をセットします。

3. 押えを降ろし、右手ではずみ車を時計回りの方向に回して針を布地に差し込みます。

4. 高速 / 低速スイッチを押してミシンの速度を調節します。

「L」の状態…ミシンが低速で動きます。
「H」の状態…ミシンが高速で動きます。

5. 本体スイッチを押すと「ON」になり、ミシンが動き始めます。もう一度本体スイッチを押すと「OFF」になりミシンが止まります。

※フットペダルスイッチをご使用の際は下図の「フットペダルスイッチを使用する」を参照して下さい。

【フットペダルスイッチを使用する】

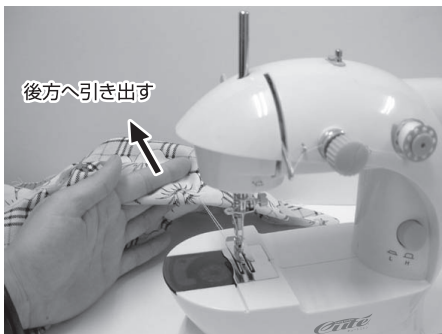
付属のフットペダルスイッチのプラグを本体の右側上段にあるフットペダル用ジャックに差し込みます。付属のフットペダルスイッチは踏んでいる時だけ電源が「ON」になり、足を離すと「OFF」になります。

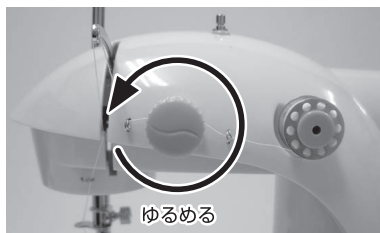
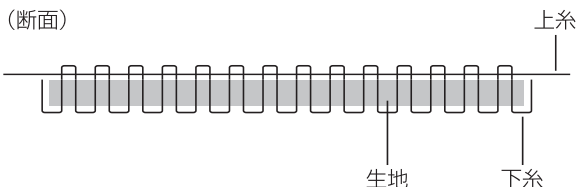
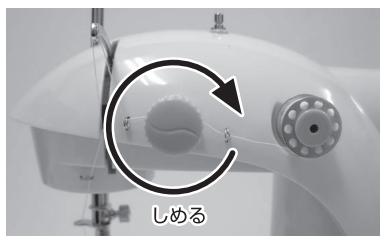
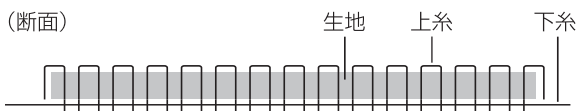
※フットペダルスイッチの差し込みプラグは、必ず本体右側上段のフットペダル用ジャックに差し込んで下さい。

## 布地を外す

1. 本体スイッチを「OFF」にしてミシンを止めます。

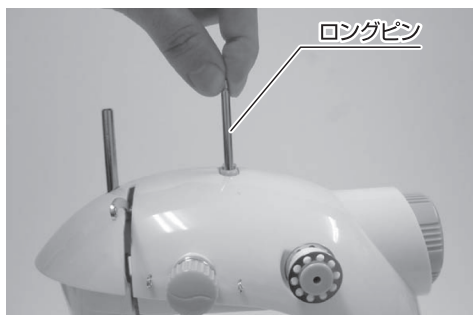
2. はずみ車を回し針を一番高い位置で止めます。プレートリフターを上げて押えを持ち上げ、布地を針の後方に引き出します。

※布地が引き出しにくい場合は、無理に布地を引っ張らずにはずみ車を小刻みに 2～3 度回したり戻したりすると糸がゆるみ、布地が引き出しやすくなります。

## ステッチの調節

●上糸が一直線になってしまうなど、上糸の調子が強すぎる場合は糸調子ダイヤルを反時計回りに回してゆるめ、上糸が軽く出る様に調節します。

[ 上糸が強く出ている状態 ]

●下糸が一直線になってしまうなど、上糸の調子が弱すぎる場合は糸調子ダイヤルを時計回りに回してしめ上糸の調節をします。

[ 上糸が弱く出ている状態 ]

※糸調子ダイヤルはしめすぎるとミシンが正しく稼働しません。
適度にゆるめてご使用下さい。

## 市販のミシン糸のセットのしかた

1. ミシン上部のロングピンをつまみ上げます。

2. 市販のミシン糸をロングピンに差し込みます。

ミシン糸

3. 上糸ボビンと同じ様にミシン糸を〈ガイド 1〉→〈糸調子ダイヤル〉→〈ガイド 2〉→〈天びん〉→〈ガイド 3〉→〈ガイド 4〉の順で通し、最後に〈針〉に通してセットします。

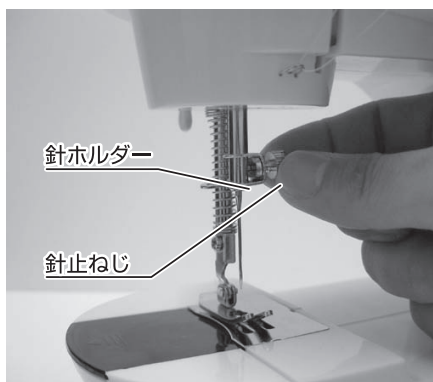
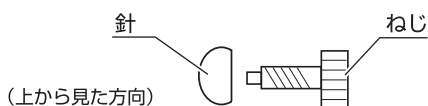
※針に糸を通す際は必ず、手前から奥側へ（針は左側から右側へ）通して下さい。

※ガイドに糸を通す際は、糸が絡んだりねじれない様にご注意下さい。糸が絡まっていたりねじれているとミシンが正しく稼働しません。（P6.【針に糸を通す際は】参照）

## 針の交換方法

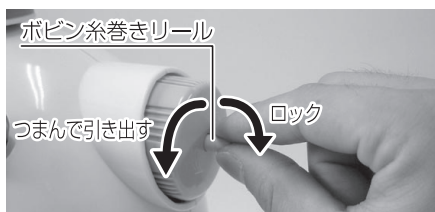
1. 電池またはアダプタを本体から取り外し、電源が入らない状態にします。

2. はずみ車を手で回し、針を一番高い所で止めておきます。

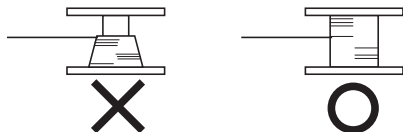
3. 針止ねじをゆるめ、古い針を取り外します。

4. 新しい針を針ホルダーの一番奥まで差し込みます。針上部の平面が針止ねじに接触する方向でセットをします。
   ※針の方向がずれているとミシンが正しく稼働しません。必ず正しい方向で取り付けて下さい。
   ※針は奥までしっかりと差し込み、針止ねじをしっかりとしめて下さい。針の取り付けがゆるいとミシンを使用している間に針が外れたり折れたりする恐れがあり大変危険です。

## 市販のミシン糸からボビンへの巻き取り方法

※ミシン糸からボビンへ糸を巻き取る時は必ず下糸ボビンを取り外し、上糸ボビンの糸をボビンに巻取り、本体に糸がセットされていない状態にして行って下さい。

1. ボビン糸巻きリールをつまんで反時計回りに回してリールを引き出します。

2. 引き出したボビン糸巻きリールを時計回りに回してリールをロックします。

3. ロックしたボビン糸巻きリールに空のボビンを取り付けます。

4. ロングピンに取付けた市販のミシン糸を空ボビンに 4～5 回巻き付けます。

5. 高速 / 低速スイッチを「L」にし、本体スイッチを「ON」にして空ボビンに巻き取ります。
   ※糸を巻き取る際に指で送り糸をガイドし、空ボビンの糸が平になるように巻き取って下さい。

# 故障かなと思ったら

| 症状 | 対処法 |
| --- | --- |
| ①下糸をすくわない。 | 針が曲がっていませんか？<br>針が曲がっていたり、取付がゆるいと正しく縫製できません。<br>針を交換、又はしっかりと取付けて下さい。 |
| ②下糸のボビンが回らない。 | ボビンがセットされているミシン内側の部品とうまくかみ合っていません。<br>はずみ車を少しずつ回して調整をして下さい。 |
| ③上糸がうまく出てこない。 | 糸調子ダイヤルがきつくなっていませんか？<br>糸をきつくしめ過ぎると上糸をうまく出せません。<br>糸調子ダイヤルを少しずつゆるめて下さい。 |
| | 糸に絡まりはありませんか？<br>きれいにほどいてからやりなおして下さい。 |
| ④布を送らない。 | 押えを下ろしていますか？<br>押えが下りていないと正しく布を送る事ができません。 |
| ⑤縫い目がとぶ。布にしわがよる。 | 上糸の調子をしめ過ぎています。糸調子ダイヤルを回して、糸をゆるめて下さい。 |
| ⑥針が折れる。 | 送られた布を強く引っぱると、針に負担がかかり破損の原因になります。軽く添える程度にして下さい。 |
| ⑦上糸が切れる。 | 上糸の掛け方を間違えていたり、糸調子をしめ過ぎていませんか？再度調整をやりなおして下さい。 |
| ⑧下糸が切れる。 | 下糸ボビンの通し方はあっていますか？<br>糸が出る方向に気を付け、下糸ボビンをきちんとボビンケースにセットし直して下さい。 |

## Memo

## 商品仕様

| | | | |
|---|---|---|---|
| 寸　　法 | 約W20×D11.5×H21cm | 定格周波数 | 50/60Hz |
| 材　　質 | ABS樹脂･スチール | 定格消費電力 | 4.8W |
| 電源方式 | 交流式･乾電池式: | 定格容量 | 10VA |
| | 単3形アルカリ乾電池4本(別売) | アダプタ | DC6V 800mA(付属) |
| 定格電圧 | 100V | 布の使用厚さ範囲 | 約0.3～0.8mm |

※商品の仕様及び外観等は、予告なく変更する事があります。

お客様サポート窓口　TEL:03-3829-5525　受付:月曜日～金曜日

macros
株式会社マクロス
〒130-0003
東京都墨田区横川3-9-3